



念じられ 照らされて

終わり(死)から人生を見直す

太宰 不二夫

四年前に亡くなった実母は、様々なことを教えてくれました。

この「手遊びうた」はその一つです。これは母親の出身地(北九州)の御門徒に伝わっていたもので、仏教の要旨が子どもにも理解できるように創作されています。

①お手チュチュチュチュ
(両手を軽く3回合わせ)



これは「仏さまに手を合わせましょう」と促すポーズです。「仏に手を合わせる」を通して、「その教えに導かれて生きていく」ことを勧めて

います。

②字(じい)のめ、字のめ、字のめバイ(人差し指で手のひらに3回円を描く)



「バイ」というのは、九州弁で語尾につけて「語気を強める」ときに使われる言葉です。だからこれは「字(言葉)をしつかりと飲み込むように覚えるんだよ」という意味になります。

私たちは「頭を使って」、人生の様々な出来事に対処していく必要があります。そのとき鍵になるのは、私たちが覚えた「言葉」です。人間は

〈略歴〉

1967年京都生まれ新潟育ち。
1999年3月に大垣教区第8組真教寺に婿養子として入寺し、2002年より住職に就任。
大垣真宗学院仏教学講師。



言葉によって知識を獲得し、それを依りどころとして重要な判断ができるようになるのです。

③たんぐり、たんぐり、たんぐり(糸まきまき)の要領で、3回両腕を回す)



このように「頭を使う」ことは重要です。しかし肝心の「頭の中」はどうなっているのでしょうか。

「仏の教え」によれば、私たちの頭の中は、いつも「自分の思い通りにしよう」とはたらいでいるのです。そして財産・地位・名誉など、この人生の役に立つものを「たぐりよせ」、失うまいとする「自力の心」に満ちているのです。

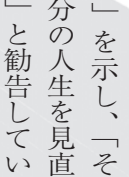
「たんぐり」とは「たぐりよせる」という意味

で、この「自力の心」をポージングしたものです。
④バアー(両手をパッと広げて)



しかしこの自力の願いは、やがて絶望の海へと沈むことになります。私たちの人生には必ず「最後のとき(死)」が来るからです。

命終わるときには、一生懸命に頭を使い「自分を支えるもの」としてたぐりよせてきたものが、全部消失して「バアー」になります。これは「真実の道理」を示し、「そこから自分の人生を見直しなさい」と警告しているのです。



⑤オツムでんてん(両手で軽く頭を2回たたく)



そして最後に、「これは大切な仏さまの導きだから、あなたの道しるべとして、しっかりと頭にたたき込んでおきなさい」と結びます。

※太宰さんには報恩講でもお話しいただきます。詳細は裏面をご覧ください。

別院定例法座

午後1時から

11月

28日 親鸞聖人ご命日法座

講師 渡邊 侑希氏

講題 「浄土真宗」

12月

3日 三日のど坊

講師 佐藤 義晃氏

講題 「覆雲霧」

28日 親鸞聖人ご命日法座

講師 石井 宗氏

講題 「お念佛との出遇い 感動」

氏 立真氏 (玄興寺衆徒)
氏 幸子氏 (了心寺坊守)
氏 惇也氏 (法正寺住職)
氏 怜氏 (寶蓮寺衆徒)



ひだご坊 一口法話

URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>
11月1日から12月31日の期間は右の方々の法話を随時掲載してまいります。

高山別院報恩講 子ども作品展

十一月三日(月・祝)まで、高山別院本堂では報恩講子ども作品展が開催されています。今年も書道塾、教室、個人より小・中学生の書道作品二〇四点が出品され、左記の通り各賞の入選が決まりました。受賞者の方々に祝い申しあげますとともに、ご参加くださった皆さま方に御礼申しあげます。別院報恩講お参りの際にご覧ください。

なお、作品展の表彰式は、十一月三日午後三時〜四時に別院本堂で開かれる「子ども報恩講」にて執り行われます。ご家族そろってお参りください。

【飛騨御坊賞】
大江きなり(中三)

御坊報恩講
大江きなり

山越穂高(小六)

【金賞】

荒川璃加(小一)・笠松仁菜(小二)・柄本千智(小三)・奥田紬麦(小四)・河合彩芭(小五)・大江謙剛(小六)・村田知彩(小六)・今井純鈴(中三)・岩田果奈(中三)

【銀賞】

柄本燈真(小一)・大前穂乃佳(小二)・野尻琉翔(小二)・青豆結衣(小二)・三宅一嘉(小三)・小林樹(小三)・松山想和(小三)・元垣内結貴(小四)・林志郎(小四)・山越海結(小四)・荒川由弥(小五)・田中皓雅(小五)・元田莉子(小五)・鈴木朱生(小五)・白野煌己(小六)・林恋世美(小六)・伊藤悠真(小六)・松葉陽向(小六)・田腰恵万(中二)・河合凜太郎(中三)・水口依桜羽(中三)

【銅賞】

小島俊希(小一)・平畑椋介(小二)・星野正光(小三)・小池杏果(小三)・中舎文(小三)・平畑鈴菜(小四)・長田知佳良(小四)・金子広登(小四)・上嶋咲絵子(小五)・高家光咲(小五)・武川恵梨菜(小五)・長瀬芽衣(小五)・林明葵(小五)・平畑柚葵(小六)・小林湊(小六)・長田陽葵(小六)・圓山晴羅(中二)・田原匡人(中二)・白野沙妃(中二)・近藤かのん(中二)・林美依子(中二)・丸田美智(中三)

【佳作】

河合彩和(小一)・蟹江李通(小二)・森下さゆ(小二)・細貝樹葵(小一)・切手彩月(小二)・佐野瑠菜(小三)・上野把来(小三)・伊藤亜美(小三)・前澤希香(小四)・杉山永和(小四)・末竹夏芽(小四)・熊崎可純(小四)・上野愛菜(小四)・田原三鳩(小四)・小山泰生(小五)・打保友惟(小五)・直井陽菜(小六)・田中結菜(小六)・上西絃大朗(中二)・梶井柚那(中二)・高家莉紅(中二)・阪本遥菜(中三)

(以上、敬称略)

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの
意味をたずねていこう

ひだご坊

報恩講



報恩講ページはこちら

11月
1日
(土)

午後
1時

しよ たい や
初逮夜

※報恩講実行委員会 内勤め

午後
7時

きょうさん ご でん しょう
響讃 御伝鈔

拝読時に異国の
楽器音楽が融合！

拝読者 高山別院列座
演奏者 曾爾テラワキ氏

午前
7時

じん じょう
晨朝(お朝事)

法話
講師 窪田 美幸氏 (2組 圓徳寺坊守)

午前
10時

にっちゅう
日中
音楽法要

第44期 真宗公開講座 第2回①

講題 「心と行動」
講師 太宰 不二夫氏 (大垣教区 真教寺住職)

午後
1時

き きょう しき
帰敬式

午後
2時

おおたいや
大逮夜
どう ぼうしや わ
同朋唱和

第44期 真宗公開講座 第2回②

講題 「煩惱の身を生きる」
講師 太宰 不二夫氏 (大垣教区 真教寺住職)

午前
7時

晨朝(お朝事)

法話
講師 渡邊 佑希氏 (清見組 了因寺住職)

午前
10時

まんにっちゅう
満日中

法話
講題 「真宗門徒」
講師 三島 多聞 (高山別院輪番)

午後
3時

子ども
報恩講
(子ども作品展表彰式)



幼少の頃よりピアノをはじめ音楽家としての道を歩み、1999年オーストラリアの先住民族アボリジニの風笛「イダキ」と出逢う。舞台音楽や奉納演奏など幅広く活動する音楽家。HIDAKI 代表。



ご坊名物「大根汁」
各種バザー
ひだご坊ブックフェア
実施日 11月2日(日)・3日(月)



御坊茶会

日時 11月2日(日)
午前10時～午後3時
会場 高山別院 庫裡ホール

お浸え

報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。
日時 11月4日(火) 午前7時～

子ども作品展

期間 11月3日(月)まで
会場 高山別院本堂

参拝送迎バス

11月2日(日)・3日(月)には別院報恩講参拝のためのバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺までお願いします。

【2日】
白川村、荘川町、久々野町、一之宮町、朝日町、丹生川町、下呂市
【3日】
清見町、下之切町、山田町、飛騨市、国府町

12/
4(木)

真宗公開講座〈第3回〉

講師 北條 親善氏
(岡崎教区第35組 成福寺住職)
講題 目の前のお方をただびとと思うなよ
―山谷での炊き出しを通して―
会場 高山別院御坊会館 参加費 500円

12/
10(水)

岐阜別院 報恩講 団体参拝

参拝のお申し込みは高山教務支所(32-0776)まで

12/
21(日)

高山別院 お煤払い奉仕のお願い

午後1時より、本堂のお煤払いを行います。一年の汚れを落とし、新年をお迎えします。ぜひともご奉仕をお願いいたします。

※持参品
マスク・タオル・軍手など

12/
31(水)

除夜の鐘と修正会

高山別院では年越し前から除夜の鐘つきが始まり、年が明け、午前0時から本堂にて修正会が勤められます。修正会は、一年の初めに莊厳を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ仏事です。ぜひ、高山別院にお参りいただき、新年の歩みを始めましょう。

除夜の鐘
12月31日(水)
午後11時45分～

修正会
1月1日(木) 午前0時
1月2日(金) 午後1時
1月3日(土) 午後1時

